

*ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ

授業科目	*ソーシャルワークの理論と方法（専門）Ⅱ				実務家教員担当科目	○					
単位	2.	履修	必修	開講年次	3	開講時期	後期				
担当教員	中川 美幸										
授業概要	多様化・複雑化する課題に対応するための様々な技法や、事例分析の意義や方法、研究についてなど実践的なソーシャルワークについて学びます。										
授業形態	講義		授業方法								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	1. 事例分析や事例検討、事例研究の目的と意義を理解できる。 2. 様々な局面におけるソーシャルワークに関連する技法について理解できる。										
理想的レベル	1. 事例分析や事例検討、事例研究の目的と意義を理解し説明することができる。また、実習などで実践できる。 2. 様々な局面におけるソーシャルワークに関連する技法について理解し、説明できる。										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）				備考						
試験	80%										
小テスト											
レポート											
発表（口頭、プレゼンテーション）											
レポート外の提出物											
その他	20%										
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	DP5	-	ナンバリング	WE21210J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
シラバスの確認 テキストの授業範囲を事前に通読 授業内容の復習										4	
授業計画											
第1回	オリエンテーション（講義の概要、進め方、評価方法等） テーマ：前期の復習										
第2回	テーマ：事例分析① 事例分析の目的や意義について学ぶ										
第3回	テーマ：事例分析② 事例の選定や分析の準備、ポイントについて学ぶ										
第4回	テーマ：事例検討 事例検討の目的や意義、事例検討を行う際の留意点について学ぶ										

第5回	テーマ：事例研究① 事例研究の目的や意義について学ぶ
第6回	テーマ：事例研究② 前向き研究と後ろ向き研究、事例研究の実施手順や留意点について学ぶ
第7回	テーマ：ネゴシエーション① ネゴシエーションの基本について学ぶ
第8回	テーマ：ネゴシエーション② 原則に基づいた交渉やネゴシエーションのプロセス、交渉に臨む際に必要な要素を学ぶ
第9回	テーマ：コンフリクト・レゾリューション コンフリクトの構造や捉え方を学ぶ
第10回	テーマ：コンフリクト・レゾリューション コンフリクト・レゾリューションに向けた方法や発展について学ぶ
第11回	テーマ：ファシリテーション ファシリテーションの定義や会議におけるファシリテーターの役割、ワークショップにおけるファシリテーションなどを学ぶ
第12回	テーマ：プレゼンテーション① プレゼンテーションの意義と方法について学ぶ
第13回	テーマ：プレゼンテーション② プレゼンテーションの留意点と評価について学ぶ
第14回	テーマ：ソーシャルワーク・マーケティング① ソーシャルマーケティングの概要について学ぶ
第15回	テーマ：ソーシャル・マーケティング② ソーシャルマーケティングのプロセスや実施と評価などを学ぶ
テキスト	最新・社会福祉士養成講座6 『ソーシャルワークの理論と方法（社会専門）』 中央法規出版 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編
参考図書・教材 ／データベース・ 雑誌等の 紹介	授業の中で参考図書を紹介します
課題に対するフィードバックの方法	小テストやレポートは確認後、返却します。レポートに書かれた質問についてはコメントをつけて返却します。また、授業中にもフィードバックします。
学生へのメッセージ	「ソーシャルワークの基盤と専門職」「ソーシャルワークの理論と方法（共通）」で学んだ内容を理解しておきましょう

ジ・コメ
ント

社会福祉専門職の役割や業務は幅広く、学ぶことがたくさんあります。この科目で学ぶ内容は、相談援助の実践において基本となるものです。繰り返し復習して、自分のものになるように習得していきましょう。必要に応じて、他の授業で学んだ内容についても復習し、概念や用語についての理解を深めましょう。また、世の中の動きやニュースにも関心を持ちましょう。